



平成 30 年 4 月 26 日

各 位

会 社 名 SMK株式会社  
代表者名 代表取締役社長 池田 靖光  
(コード番号 6798 東証第1部)  
問合せ先 常務執行役員 大垣 幸平  
(TEL. 03-3785-1111)

通期業績予想と実績値との差異、営業外費用（為替差損）  
及び特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

平成 30 年 1 月 29 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の通期業績予想と本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、平成 30 年 3 月期第 4 四半期連結会計期間（平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）において、下記のとおり営業外費用（為替差損）及び特別損失（減損損失）を計上しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値と実績の差異（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 60,000	百万円 1,000	百万円 1,400	百万円 2,300	円 銭 34.79
今回実績（B）	59,786	485	358	△288	△4.36
増減額（B－A）	△213	△514	△1,041	△2,588	
増減率（％）	△0.4	△51.5	△74.4	△112.5	
（ご参考）前期実績 （平成 29 年 3 月期）	62,971	630	1,398	1,017	15.17

2. 差異の理由

平成 30 年 3 月期通期の連結業績につきましては、大型案件の新製品立ち上げに伴う労務費、経費増、及び工場移転に伴う諸費用の発生により、中国地区の生産子会社における生産コストの増加が想定を上回り、営業利益は前回予想を大幅に下回りました。経常利益は営業利益の減少及び為替相場の円高進行による為替差損の計上により前回予想を下回りました。親会社株主に帰属する当期純利益は、営業利益及び経常利益の減少、減損損失の計上により前回予想を下回りました。

### 3. 営業外費用（為替差損）の内容

平成30年3月期第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成30年12月31日）において為替差益1億4千3百万円を計上しておりましたが、為替相場の円高進行により、平成30年3月期第4四半期連結会計期間（平成30年1月1日～平成30年3月31日）において、10億6千5百万円の為替差損が発生したことから、平成30年3月期第4四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成30年3月31日）において、為替差損9億2千1百万円を営業外費用に計上いたしました。

なお、為替換算差額に影響を与える要因である米ドルの決算期末日レートにつきましては、平成30年3月期第3四半期連結累計期間末は1米ドル113.00円に対し、平成30年3月期連結会計年度末は1米ドル106.24円でありました。

### 4. 特別損失（減損損失）の内容

当社子会社である SMK-LOGOMOTION(株)、SMK Manufacturing, Inc. 及び SMK Electronica S.A. de C.V. が保有する固定資産（機械装置、特許権等）について、現在の事業環境を踏まえて将来の回収可能性を検討した結果、平成30年3月期第4四半期連結会計期間において、減損損失15億4千4百万円を特別損失に計上いたしました。

以 上